

議案第 1 号

令和 7 年度からの飯塚市コミュニティ交通体系について

1. 次期コミュニティ交通運行計画策定の方向性等（再掲）

（1）今後の検討・調整の方向性（基本的な考え方）

現在のコミュニティ交通体系の主旨を踏まえ、現交通体系を維持し、各交通機関の運行を継続して実施する。

各交通機関の運行計画については、利用状況に基づき、利用実態に合わせた、より「効果的」「効率的」な運行への改善・見直しを行う。

（2）具体的な検討・調整事項

① エリアワゴン

（ア）廃止検討基準を用いた停留所の存続を再検討

（イ）各地区の状況に応じた運行ルート再編・ダイヤ変更等の実施

② 予約乗合タクシー、コミュニティバス、路線ワゴン

前述「（1）今後の検討・調整の方向性」に基づいて、運行ダイヤ等の必要な検討・調整を行う。

（3）エリアワゴン停留所廃止検討基準

次の基準を用いて、存続・廃止検討対象の停留所を選定する。

廃止検討基準： 一日平均乗降者数が 0.1 人/日未満の停留所

（※基準値 0.1 人/日の考え方： その停留所の利用回数が 1 日当たり 0.1 回であり、10 日運行して 1 回の乗車、もしくは降車がある状態。）

この基準をもとに検討対象の停留所を選定した後、実際の存続・廃止の判断においては、当該停留所の設置環境、設置効果、地域住民のご意見等を勘案して総合的に検討する。

2. 令和 7 年度エリアワゴン運行計画に係る全市的取り組み（停留所の精査）

（1）存続停留所の選定方法

令和 4 年度～6 年度（4～6 月）までの複数年度の利用状況と廃止検討基準を照合し、廃止候補停留所を抽出後、地域のご意見・ご要望、運行経路、停留所間の距離等を勘案した総合的な判断により存続する停留所を選定する。

なお、各地区の状況に応じ、停留所の追加設置を行うものとする。

（2）地区別廃止停留所選定状況・停留所一覧 **資料 1**

全市路線別停留所数（延べ停留所数）364 か所のうち、110 か所廃止（約 30.22%）

3. 各地区ごとの令和7年度運行計画（案）

幸袋地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 利用者数の減少
- ② 運行計画（番線編成）
 - Ⓐ 6つの番線（運行地域グループ）が一日に1往復運行
 - Ⓑ 午前運行グループと午後運行グループが固定
- ③ Alzo（アルゾ）での滞在時間が短い。… 平均42分
- ④ 利用者アンケートにおける要望
「運行する曜日を増やす」、「一日当たりの運行本数を増やす」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準
 - Ⓐ 買物施設での滞在時間 … 1時間～1時間30分程度
 - Ⓑ 1便当たりの運行所要時間 … 30分程度
- ② 運行ルート編成（運行グループ編成数の変更）
R6：6番線（運行地域グループ） ➡ R7：3グループ

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

- ① R7 年度運行ルート編成（居住地域区分） 資料2
「庄司方面」、「目尾方面」、「緑ヶ丘・中方面」の3ルート編成
- ② 平日1日当たり運行頻度
R6：一日1往復 ➡ R7：一日2往復
居住地域から Alzo（アルゾ）への利用回数 一日1回 ➡ 一日2回
- ③ Alzo（アルゾ）滞在時間
R6：平均42分 ➡ R7：平均1時間28分

【2】路線ワゴン・予約乗合タクシーR7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

◇ 路線ワゴン

- ① 利用者数の減少
- ② 便による利用格差 … 第3便・第4便の利用者数が少ない。

◇ 予約乗合タクシー

利用者数の減少

（2）R7 年度運行計画（案）の主な内容

◇ 路線ワゴン

路線ワゴン第3便・第4便を廃止し、予約乗合タクシーの運行時間に振り替えて予約可能な運行時間を拡充することで、予約乗合タクシーを利用しやすくする。

◇ 予約乗合タクシー

地区外運行施設の追加 … トライウエル目尾店

颯田地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 利用者数の減少
- ② 6つの番線（運行地域グループ）が一日に1往復運行
- ③ 午前運行グループと午後運行グループが奇数週・偶数週によって入れ替わる。
- ④ 停留所別の利用格差（利用者が少ない停留所がある。）
- ⑤ 利用者アンケートにおける要望
「中心市街地内で行ける場所を増やす」、「乗り継ぎしやすくする」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準
 - Ⓐ 奇数週・偶数週のダイヤの同一
 - Ⓑ 運行地域グループごとに午前午後各1往復（1日4便（2往復））の運行
 - Ⓒ 買物施設での滞在時間 … 1時間程度
- ② 運行ルート編成（運行グループ編成の変更）
R6：6番線（運行地域グループ） ➡ R7：3グループ

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

- ① R7 年度運行ルート編成（居住地域区分） 資料3
「小峠方面」、「勢田・木浦岐方面」、「石丸団地・中央団地方面」の3ルート編成
- ② 平日1日当たり運行頻度
R6：一日1往復 ➡ R7：一日2往復
居住地域から川食鯉田店への利用回数 R6：一日1回 ➡ R7：一日2回
- ③ エリアワゴンの停留所として追加（路線ワゴンで利用されていた停留所の継続設置）
颯田病院、鯉田駅、鯉田交流センター

【2】路線ワゴン・予約乗合タクシーR7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

◇ 路線ワゴン

- ① 利用者数の減少
- ② 停留所別の利用格差

（2）改善施策の考え方

◇ 路線ワゴン

利用のあった一部の停留所をエリアワゴンの停留所として運行
（エリアワゴンに一部編入）

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容

◇ 路線ワゴン

路線ワゴンを廃止（予約乗合タクシーの利用可能な運行時間を拡充）

◇ 予約乗合タクシー

地区外運行施設の追加 … トライアル庄内店（令和7年1月オープン予定）

筑穂地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）
- ② 利用者アンケートにおける要望
「乗り継ぎしやすくする」、「一日当たりの運行本数を増やす」、「運行する曜日を増やす」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準
 - ④ 川食筑穂店での滞在時間 … 1 時間程度
 - ⑤ 1 便当たりの運行所要時間 … 30 分～50 分程度
 - ⑥ 交通結節点での乗り継ぎ … 乗り継ぎ機会の増加
- ② 弥山桑曲・内住地区の運行
 - ④ 平日について
大分線（内住十郎から切畑の区間）と内野線（桑曲公民館から太郎丸口の区間）の一部区間の運行を廃止。
 - ⑤ 土曜日について
内野・内住線（現在、土曜のみ運行）を廃止し、次の代替対応を実施。
 - ・内住方面（内住十郎、荒木商店前、内住本村公民館）を大分線に編入して運行
 - ・弥山方面（君ヶ畑公民館、弥山、太郎丸口）を内野線に編入して運行

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和 6 年度からの改善事項）

- R7 年度運行ダイヤ・ルート編成（主な改善点） 資料 4～6
- ④ 一日当たりの運行便数の増加
 - ⑤ 1 便当たりの運行所要時間の短縮
 - ⑥ 桂川駅、筑前大分駅の発着回数の増加

【2】コミュニティバス R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 利用者アンケートにおける要望
「利用しやすい運行ダイヤにする」、「一日当たりの運行本数を増やす」
- ② 運行管理 … ダイヤの遅れの発生

（2）改善施策の考え方

定時制の確保（ダイヤの遅れ減少）

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容

第 2 便ルートを変更（第 1 便後の回送時間を短縮）

鎮西地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）
- ② 運行支援の多発

R5:8回 R6(上半期):6回

花瀬公園等の住宅地域の利用者増加に伴う、周辺停留所での運行支援の発生。

※運行支援とは：10人乗りのワゴン車が定員を超えた場合に、運行事業者が別車両を当該停留所まで手配すること。別車両が到着するまで待ち時間が発生する。

- ③ 利用者アンケートにおける要望

「一日当たりの運行本数を増やす」、「利用しやすい運行ダイヤにする」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行日を増加（利用者増加に対応、及び運行支援発生を回避）
- ② 運行ダイヤ編成（運行支援の回避）
二瀬病院（地区外）をルートから除き、予約乗合タクシーの地区外運行施設として設定（運行に余裕を持ったダイヤを編成）。

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

- ① R7 年度運行ルート編成 資料7
- ② 運行日の追加
木曜日運行追加
R6：平日2日（火・金）と土曜 ➡ R7：平日3日（火・木・金）と土曜

【2】路線ワゴン・予約乗合タクシーR7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

◇ 路線ワゴン・予約乗合タクシー

利用者数の減少

（2）R7 年度運行計画（案）の主な内容

◇ 路線ワゴン

木曜日の第3便から第7便、及び平日第5便を削減
（予約乗合タクシーの利用可能な運行時間を拡充、
及び木曜日はエリアワゴン運行拡充で対応）

◇ 予約乗合タクシー

地区外運行施設の追加 … 二瀬病院

二瀬地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）
- ② 運行支援の多発
R5:11回 R6(上半期):12回
清水谷団地、高雄団地等の住宅地域の利用者増加に伴う、周辺停留所での運行支援の発生。
- ③ 利用者アンケートにおける要望
「中心市街地内で行ける場所を増やす」、「運行する曜日を増やす」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準
 - ④ 買物施設（イオン穂波店等）での滞在時間 … 1時間～1時間30分程度
 - ⑤ 1便当たりの運行所要時間 … 30分程度
- ② 運行ルート編成（運行支援の回避）
住宅地域を2方面のルートに分けて商業施設等へ輸送。
現在の1ルートを2ルートに編成。
相田方面：蟹ヶ浦団地、清水谷団地、相田団地
川津方面：高雄団地、けやき台

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

- ① R7 年度運行ルート編成 **資料8**
「相田方面」、「川津方面」の2ルート編成
- ② 運行日の追加
木曜日運行追加
R6：平日2日（火・金）と土曜 ➡ R7：平日3日（火・木・金）と土曜
- ③ イオン穂波店での1日あたりの発着回数(地区合計) R6：10回 ➡ R7:14回

穂波・菰田地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 運行支援の多発 … 穂波地区・菰田地区
R5:8回 R6(上半期):25回
第2便の菰田交流センター、第3便のイオン穂波店付近での利用者が多く運行支援が多発。
- ② 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所）… 穂波地区(高田系統)
- ③ 利用者アンケートにおける要望
「一日あたりの運行本数を増やす」、「利用しやすい運行ダイヤにする」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ルート編成（運行支援の回避）
穂波地区・菰田地区 運行支援が多発する便(第2便及び第3便)を、忠隈方面と菰田地区に分けて各々商業施設へ運行。
- ② 新規運行地域
穂波地区(高田系統) 平恒、楽市方面の運行。

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

R7 年度運行ルート編成 資料9

穂波地区・菰田地区

- ・ 忠隈方面と菰田地区を別便に分けて商業施設に運行

R6: 第2便 穂波地区(忠隈方面) + 菰田地区 ==> 商業施設

R7: 第2便 穂波地区(忠隈方面) =====> 商業施設

第3便 菰田地区 =====> 商業施設

※R6年度の第3便は、R7年度の第4便と第5便に分けて運行

穂波地区(高田系統)

- ・ 天道駅から平恒、楽市方面へ運行ルート追加。
- ・ 椋本方面からハローデイ穂波店への運行ルート追加。

【2】コミュニティバス R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 利用者アンケートにおける要望
「利用しやすい運行ダイヤにする」「一日あたりの運行本数を増やす」
- ② 運行管理 … ダイヤの遅れの発生

（2）改善施策の考え方

定時制の確保（ダイヤの遅れ減少）

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容

第2便ルートを変更（第1便後の回送時間を短縮）

飯塚東地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）（地区全体）
- ② 運行支援の多発（地区全体）

R5:6回 R6(上半期):8回

上三緒第2公民館等の住宅地域の利用者増加により、周辺停留所で運行支援が発生。

- ③ 利用者アンケートにおける要望

「運行する曜日を増やす」、「利用しやすい運行ダイヤにする」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準（地区全体）

商業施設（トライアル上三緒店等）での滞在時間 … 1時間～1時間30分程度

- ② 運行ルート編成（運行支援の回避）（地区全体）

第1便及び第3便を、上三緒団地地域と下三緒団地地域に分けて各々商業施設へ運行

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

※「柏の森ヒルズ系統」は、現行から変更なし（継続運行）。

R7 年度運行ルート編成 資料10

（地区全体）上三緒団地地域と下三緒団地地域を分けて、商業施設に運行

第1便 R6: 下三緒団地 + 上三緒団地 ==> 商業施設

R7: 上三緒団地 ==> 商業施設、下三緒団地 ==> 商業施設

第3便 R6: 商業施設 ==> 下三緒団地 + 上三緒団地

R7: 商業施設 ==> 上三緒団地、商業施設 ==> 下三緒団地

【2】予約乗合タクシーR7 年度運行計画（案）

地区外運行施設の追加 … 西鉄「麻生塾」バス停

鯉田地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）
- ② 利用者アンケートにおける要望
「地区内で行ける場所を増やす」、「中心市街地内で行ける場所を増やす」

（2）改善施策の考え方

- ① 停留所の精査に伴う運行ルート・ダイヤの変更

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和 6 年度からの改善事項）

R7 年度運行ルート編成 資料 11

- ・便数については変更なし
- ・停留所を精査し、運行に余裕を持ったダイヤを編成

【2】予約乗合タクシー R7 年度運行計画（案）

地区外運行施設の追加 … トライアル庄内店（令和 7 年 1 月オープン予定）

庄内地区

【1】エリアワゴン R7 年度運行計画（案）

（1）課題・問題点

- ① 停留所の利用格差（利用者が少ない停留所の存在）（地区全体）（赤坂橋系統）
- ② 曜日により異なる目的地（地区全体）
 - ・平日は午後の運行のみであるが、曜日により主な目的施設が異なる。
（火曜日：川食庄内店方面、木曜日：トライアル上三緒店方面）
 - ・土曜日は終日運行であるが、午前と午後で主な目的施設が異なる。
（午前：川食庄内店方面、午後：トライアル上三緒店方面）
- ③ 運行支援の多発（地区全体）
R5:4回 R6(上半期):5回
新町西団地等の住宅地域の利用者増加に伴う、周辺停留所での運行支援の発生
- ④ 利用者用者アンケートにおける要望
「運行コースを短くする」、「一日あたりの運行本数を増やす」

（2）改善施策の考え方

- ① 運行ダイヤ編成の考え方の基準
買物施設（川食庄内店等）での滞在時間 … 1時間～1時間30分程度
- ② ルート設定の変更（商業施設等への運行方法）
トライアル庄内店のオープン(R7年1月末)に伴い、いずれの曜日でも、ハーモニー、グッディ庄内店、川食庄内店、トライアル庄内店を一連の目的地としたルート設定

（3）R7 年度運行計画（案）の主な内容（令和6年度からの改善事項）

R7 年度運行ルート編成 資料 12

（地区全体）

- ① 運行支援を回避するため運行ルートを3つ(方面)に分けて編成
「筒野方面」、「有井方面」、「新町方面」の3ルート編成
- ② トライアル庄内店(R7年1月末オープン予定)の停留所を新設
（庄内地区からのトライアル上三緒店の運行は廃止）
- ③ 火、木曜のダイヤを同一にして各グループにおいて午後2便（1往復）の運行
（赤坂橋系統）
 - ① 停留所の精査に伴うダイヤの変更

【2】予約乗合タクシーR7 年度運行計画（案）

地区外運行施設の追加 … 石川クリニック